

★目次★

- 1、はじめに
- 2、トピックス
- 3、山梨県新型コロナウイルス感染症発生状況
- 4、終わりに
- 5、新着情報



1、はじめに ～地域医療支援室から～

新年度が始まり心機一転の季節となりました。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症からポストコロナ時代に向けて流れが変わり始めています。さらに医療を取り巻く環境は大きく変化し、働き方改革や少子高齢化の加速に伴う労働力不足、国際紛争やそれに伴う材料不足と物価上昇など、解決すべき問題が数多く存在します。

地域の高齢化率はこれからも増加することから、地域に必要とされる医療の提供と機能・質の向上、徹底した地域との連携で、必要なサービスを途切れなく提供していく所存です。

「誰からも選ばれ、信頼される病院を目指す」べく職員一同精進してまいります。今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2、トピックス

総合相談センターのご紹介

1階総合相談センターにおいて、院外医療機関との窓口機能を担っております。患者さんが治療を受ける中で、医療費の負担、介護保険、障害年金等の制度利用、退院後の療養生活上でお困りの事等について、社会福祉士、看護師、事務職が相談を随時お受けしています。

地域の皆様が安心して過ごせるよう、相談しやすい総合相談センターを目指します。



総合相談センタースタッフの挨拶

総合相談室 室長：佐久間 貴仁

地域の先生方におかれましては、平素より、当院との患者紹介や入退院の調整をはじめ、地域医療連携の推進に関しまして、多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、あらためて心から感謝申し上げます。総合相談センターでは、数名の職員が異動し、新しい体制のもと日々の業務に取り組んでおります。今後も、皆様とともに地域医療を推進し、地域住民の健康を守ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

地域医療支援室 室長：雨宮 史武 医師（消化器内科科部長）

いつもありがとうございます。コロナ禍でなかなか先生方にご挨拶へ伺うことができないため開始したメールマガジンも3年目となりました。今年度は外部の業者と協力し、より具体的な当院の特色・強みを明記した資料を現在作成中です。完成後は直接先生方にお会いして渡していきたいと考えております。メールマガジンの発行は継続しますが、上記の通り直接お伺いできる状況となってまいりましたので、発行は昨年より少なくする予定です。また何かご意見がありましたら地域医療支援室までお願いいたします。

地域医療支援室 地域医療連携係 看護師長：丹澤 千晶

平素より当院との医療連携に関してご理解とご協力をいただきありがとうございます。本年も可能な限り地域医療機関を訪問させていただき、ご挨拶に伺いたいと思っています。

当院の基本理念は「いのちに光を心にやすらぎを」であり命の大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療を目指しています。この理念をもとに、地域の中核病院として地域の医療機関と連携し、紹介・逆紹介の推進、円滑かつ効率的な医療の提供、患者サービスの向上を目指しています。また、当院は在宅療養後方支援病院となり2年目を迎えます。新規患者登録も常時受け付けており、在宅医療の支援体制の充実に努めていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

看護支援室 看護支援係 看護師長：佐藤 智子（新任）

平素から看護における連携の推進につきまして、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。昨年4月より看護支援室に配属となりお陰様で2年目を迎えることができました。今年度も新たなメンバーと共に「医療と介護の役割分担と切れ目のない連携」を目指して行きたいと思っております。コロナ禍ではありますが、「顔の見える関係づくり」「地域の連携」に向け、オンラインを活用したカンファレンス等にも積極的に取り組んで行きます。引き続きよろしくお願いいたします。

